

## 第2章 みどりの現況

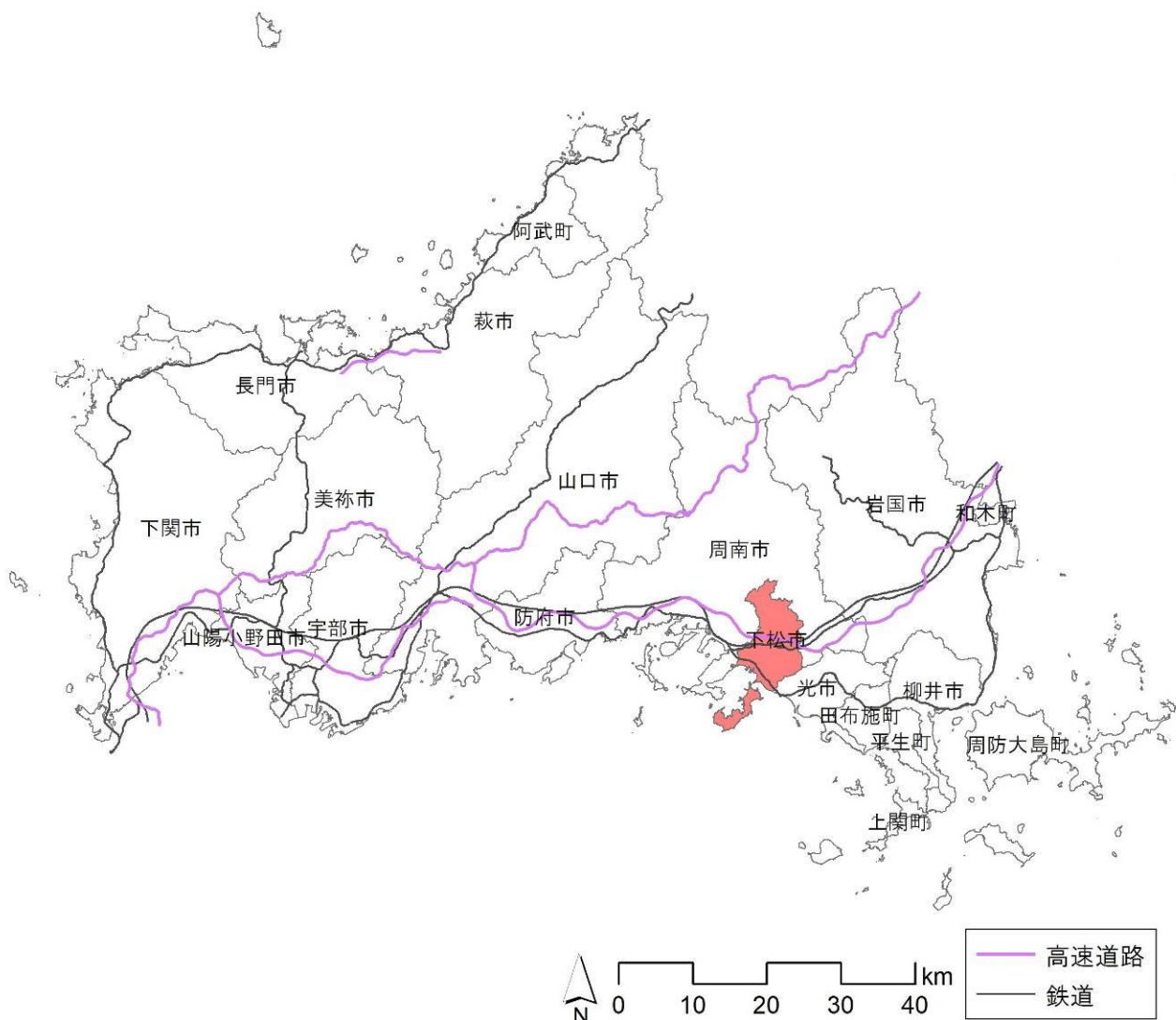
### 2-1 本市の概要

#### 2-1-1 位置

本市は、1939（昭和 14）年 11 月 3 日に、当時の都濃郡下松町を中心に花岡村、久保村、末武南村を合併して市制を施行しました。その後、1954（昭和 29）年 11 月 1 日に都濃郡米川村を、1962（昭和 37）年 4 月 1 日に都濃郡都濃町滝ノ口部落を編入合併して現在に至っています。

山口県の南東部に位置し、北方と西方を周南市、東方を光市と接しており、南方には瀬戸内海に浮かぶ笠戸島を擁する面積 89.35 k m<sup>2</sup>の都市です。

[本市の位置図]



出典：国土数値情報

方位	地名	極限経緯度	市の広ぼう
東端	久保添谷	東経 131° 56′	東西 12.7 km
西端	古島	東経 131° 48′	南北 20.6 km
南端	笠戸島火振岬	北緯 33° 55′	
北端	米川清若	北緯 34° 06′	笠戸島の周囲 延長：36 km

出典：統計くだまつ 2017

## 2-1-2 地勢

中心市街地は、平野部のほぼ中央から東南に開け、海岸線の南東一帯は工業地帯を形成しています。また、笠戸湾は、東方を笠戸島（面積11.77km<sup>2</sup>）、西方を周南市大島半島に囲まれ、波静かな天然の良港をなしています。

地形は、低地が全体面積の約15%（13km<sup>2</sup>）を占め、山地・丘陵が約85%（76km<sup>2</sup>）を占めており、3本の二級河川が流れ、2つのダム湖を擁します。

交通網のうち鉄道は、市の中央にJR山陽新幹線及びJR岩徳線、南部にJR山陽本線、道路は、山陽自動車道、国道2号、国道188号と東西の幹線交通路が貫通しています。

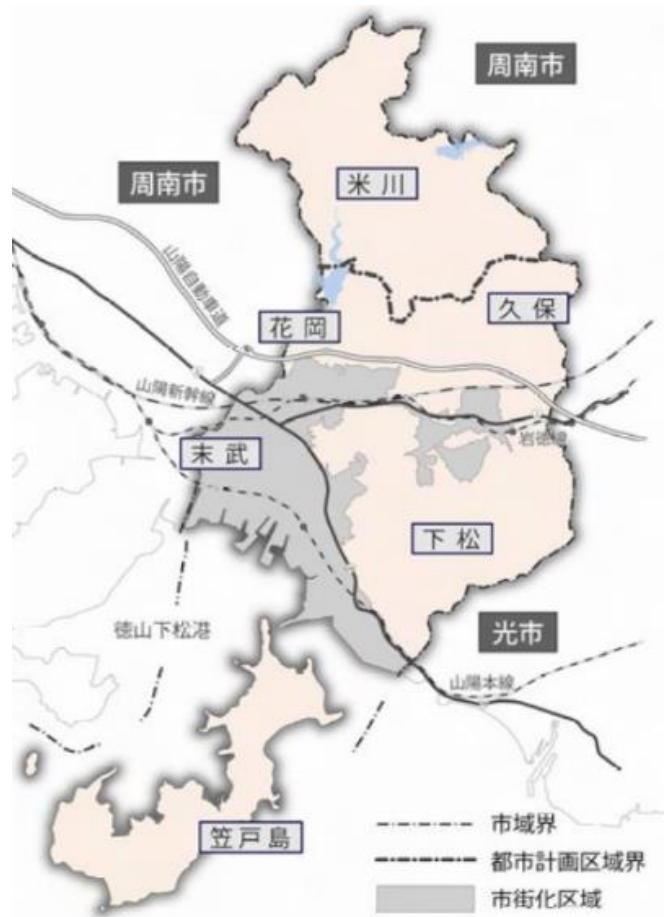
かつては下松駅周辺が市の中心市街地を形成し、海岸部に集積する大規模工場群の玄関口となっていました。高度経済成長期以降、末武、花岡、久保地区方面で住宅地開発が多く行われ、さらに1993（平成5）年の下松タウンセンター開業を契機に、末武・花岡地区等での郊外型商業立地が相次いだことから、市街地が急速に分散化し、下松地区から花岡・久保地区まで市街地が連続しています。

[航空写真]



出典：下松市総合計画

[下松市の構造]



出典：下松市都市計画マスタープラン

[二級河川]

名称	区間			流路延長平均 (m)
	上流端		下流域	
	左岸	右岸		
切戸川	下松市大字山田字大代	同市同大字字石ヶ浴	下松市にて海	8,874
平田川	下松市大字末武上字鎌崎	同市同大字字東田	下松市にて海	5,000
末武川	周南市大字八代字河原	同市同大字字平岩	下松市にて海	21,440

データ: 山口県土木建築部

[ダム]

名称	水系及び河川	所在地	完成年月日 1)	目的 2)	集水面積 (km <sup>2</sup> )	湛水面積 (km <sup>2</sup> )	堤高 (m)	堤頂長 (m)
温見ダム	末武川	温見	昭和38. 3. 31	農・工・上	17.7	0.32	36.0	135.0
末武川ダム	末武川	瀬戸	平成 4. 3. 31	治・工・上・電	44.1	0.69	89.5	275.0

常時満水位 (EL m)	総貯水容量 (1000m <sup>3</sup> )	有効貯水容量 (1000m <sup>3</sup> )	洪水調節容量 (1000m <sup>3</sup> )	発電			その他利水			管理区分
				発電容量 (1000m <sup>3</sup> )	最大使用水量 (m <sup>3</sup> /sec)	最大出力 (kW)	利水容量 (1000m <sup>3</sup> )	工業用水 (m <sup>3</sup> /day)	上水道用水 (m <sup>3</sup> /day)	
272.20	4,520	4,393	—	—	—	—	4,393	45,000	39,700	県農林水産部 (下松市)
137.20	19,570	18,770	5,770	—	3.6	1,600	13,000	10,900	37,800	県土木建築部

資料: 県統計分析課「山口県統計年鑑」、市上下水道局

(注) 平成29年4月1日現在の数値。1) 管理委託日の前日。

2) 治: 治水、農: 農業用かんがい、工: 工業用水、上: 上水道用水、電: 発電

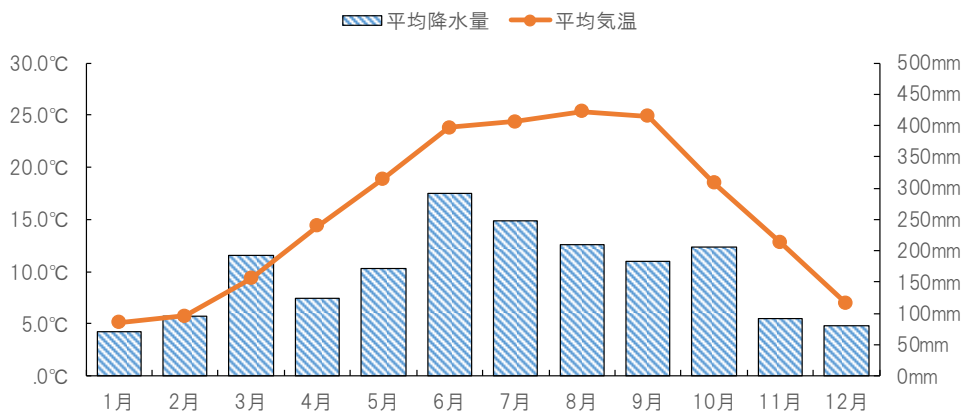
出典: 統計くだまつ 2017

### 2-1-3 気候・気象条件

本市の平均気温は 16.0℃、2013 (平成 25) 年~2017 (平成 29) 年の 5 年間の平均降水量は 1,958mm となっています。

穏やかな瀬戸内海に面し温暖で、1 年を通じて過ごしやすい気候となっています。

[平均降水量と平均気温]



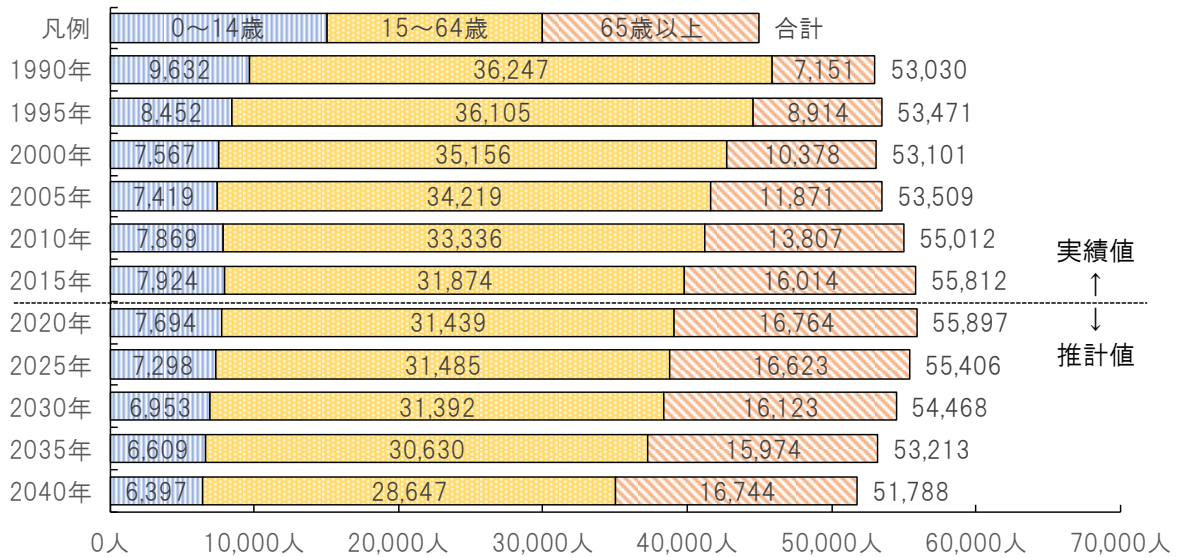
データ: 統計くだまつ 2017

## 2-2 人口

### 2-2-1 人口推移

2020年まで人口増加が続き、2025年から減少傾向になることが想定されています。

[人口推移]

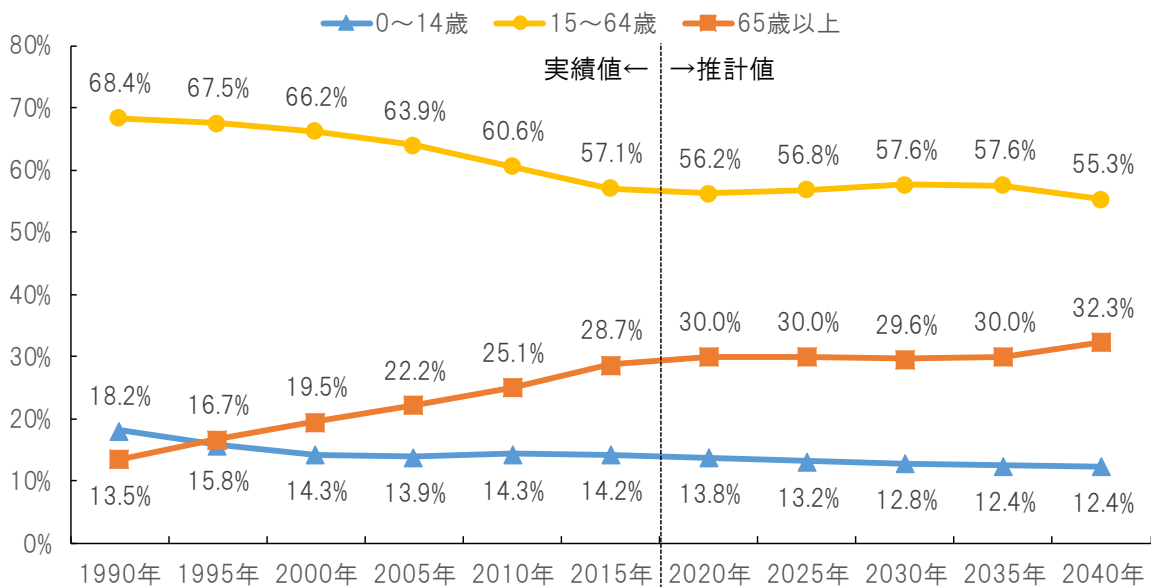


データ: 2015(平成 27)年までは「国勢調査」、2020年以降は「日本の地域別将来推計人口(平成 30年 3月推計) 国立社会保障・人口問題研究所」

### 2-2-2 人口年齢 3 区分割合の推移

年少人口比率及び生産年齢人口比率は減少を続ける一方で、高齢化率は上昇を続けることが予想されます。

[人口年齢 3 区分割合の推移]



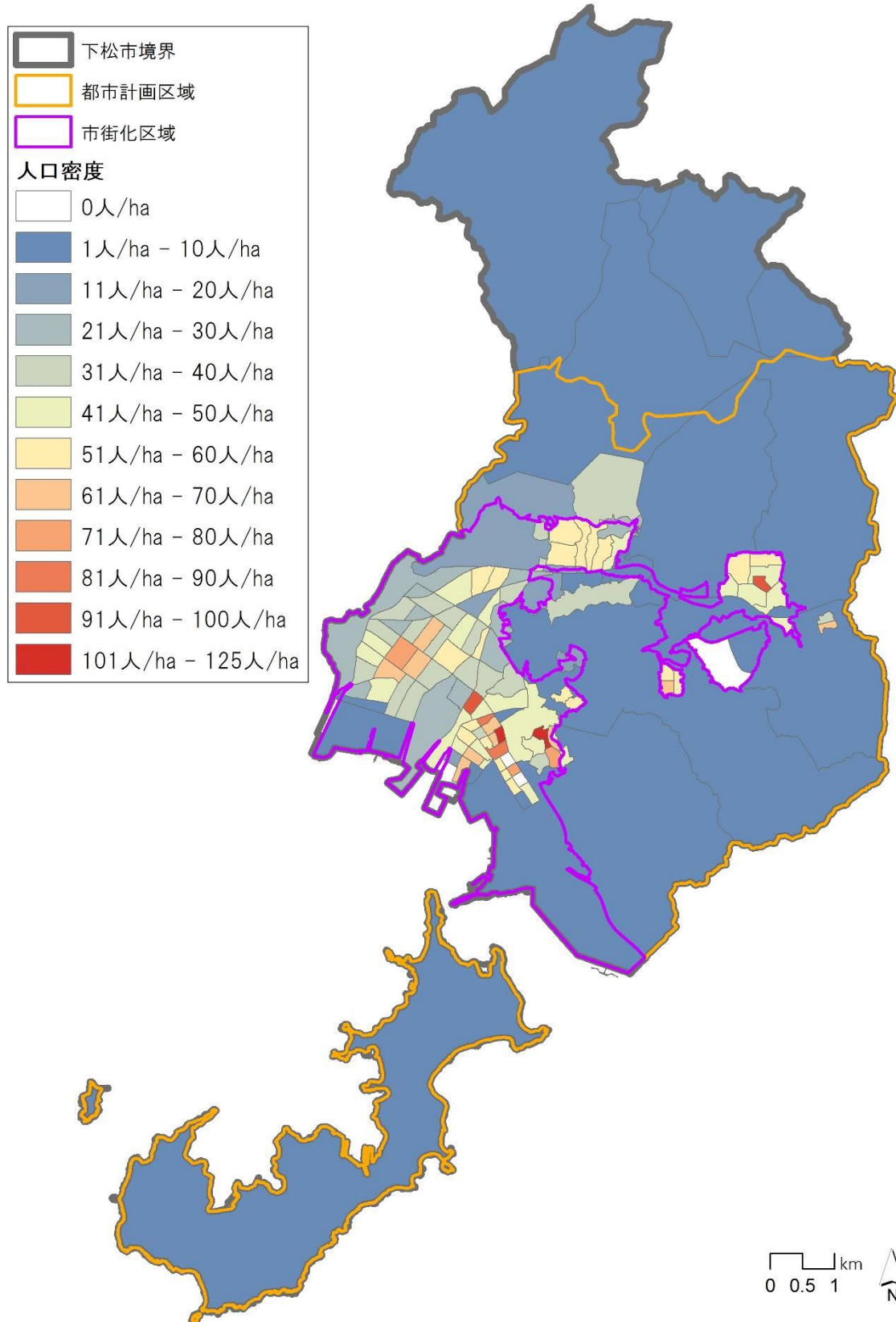
データ: 2015(平成 27)年までは「国勢調査」、2020年以降は「日本の地域別将来推計人口(平成 30年 3月推計) 国立社会保障・人口問題研究所」

### 2-2-3 地域別人口密度

市街化区域（すでに市街地を形成している区域及びおおむね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域）のうち、工場が多く立地する臨海部においては人口密度が低くなっています。

また、市街化区域外の笠戸島や山間部においても、人口密度が低くなっています。

[地域別人口密度]



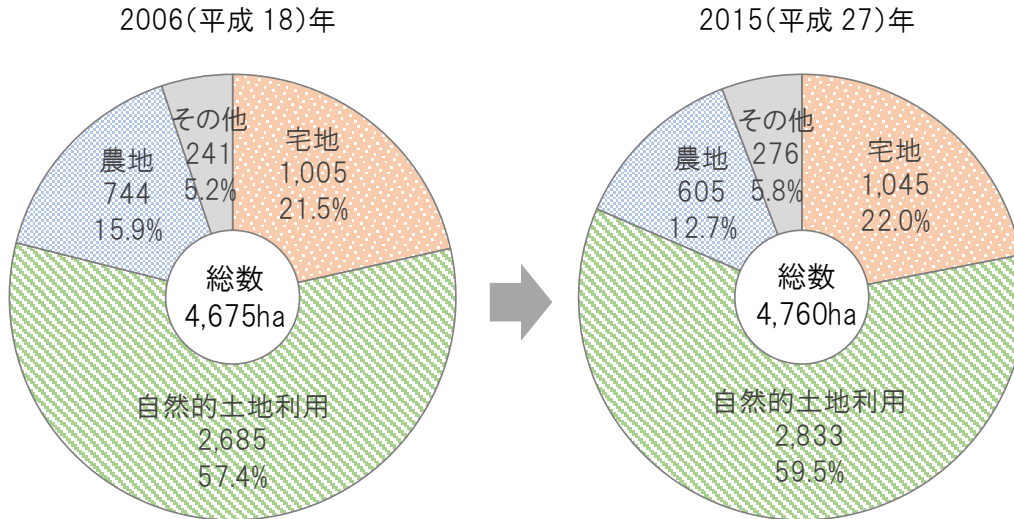
データ: 2015(平成 27)年国勢調査

## 2-3 土地利用

### 2-3-1 民有地の地目別面積

2006（平成 18）年から 2015（平成 27）年の間で、農地は減少し、宅地、自然的土地利用は増加しています。

[民有地の地目別面積の推移]



※農地は田・畑、自然的土地利用は池沼・山林・原野、その他は牧場・雑種地  
 ※国及び地方公共団体の所有地、公有地等の非課税地は含まれていない

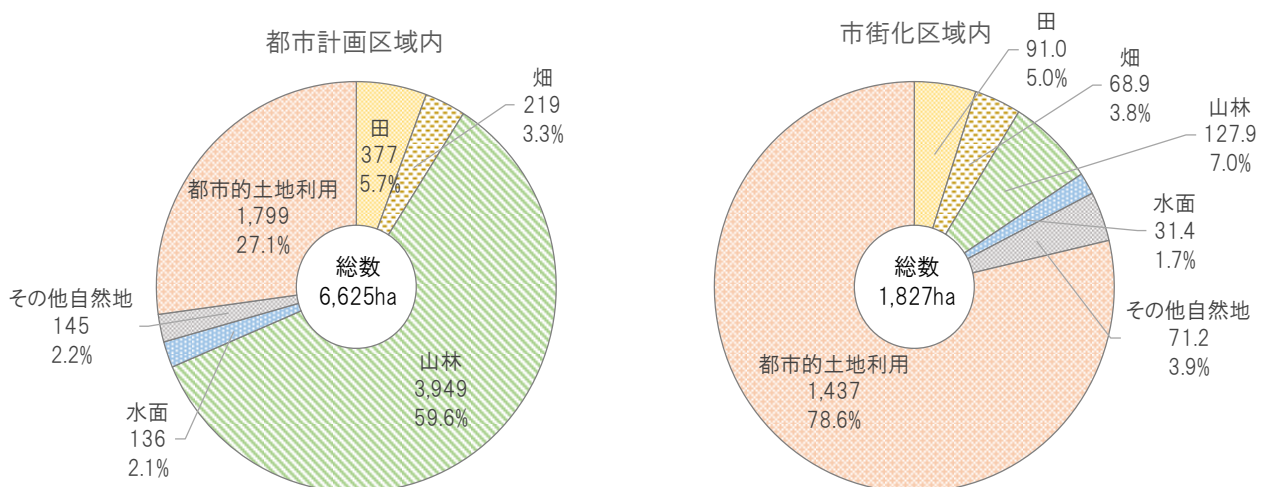
データ：統計くだまつ

### 2-3-2 土地利用現況（都市計画区域内）

都市計画区域内では、都市的土地利用は 27.1%となっています。一方、自然的土地利用は 72.9%で、山林が 59.6%で最も多くなっています。

市街化区域内では、自然的土地利用（田・畑・山林・水面・その他自然地）が 21.4%となっており、そのうち農地（田+畑）が約 4 割を占めています。

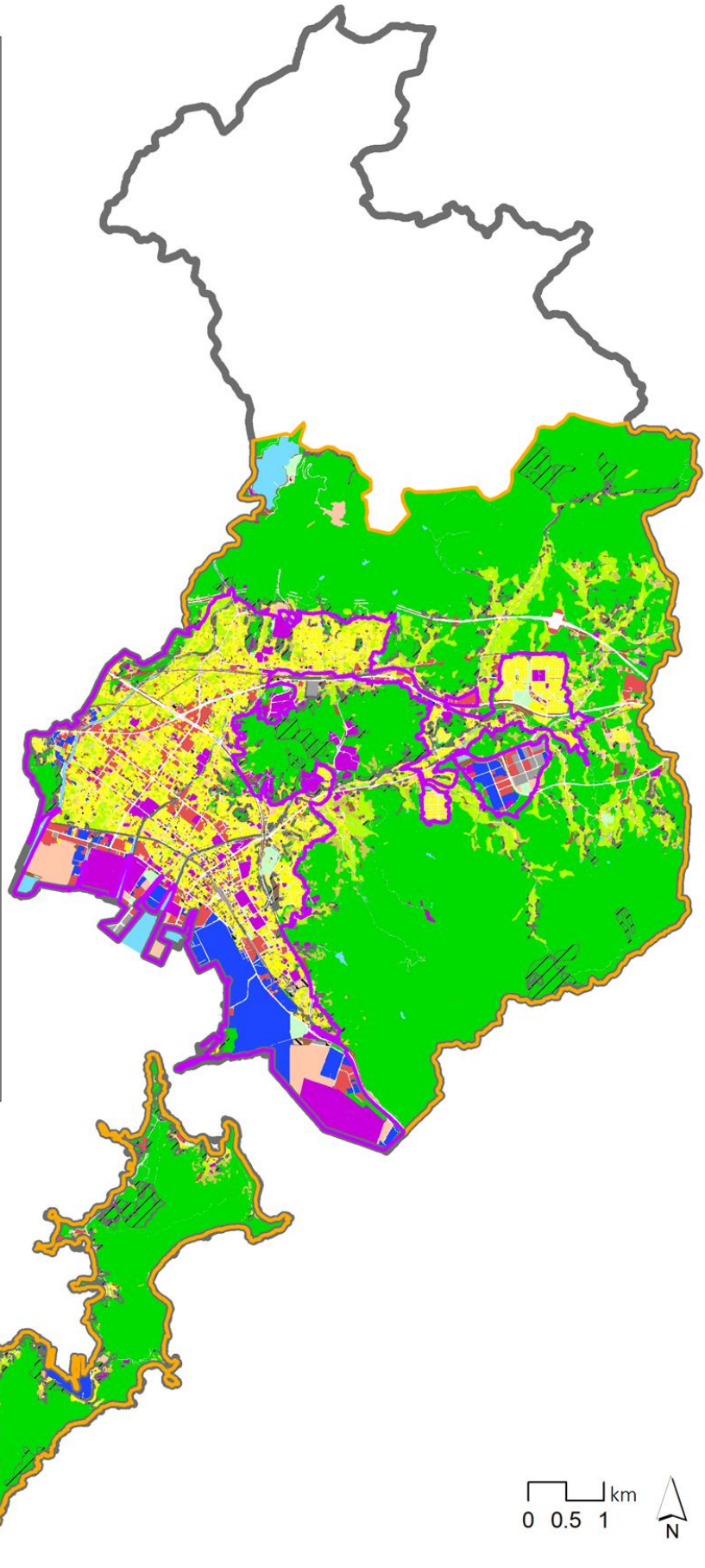
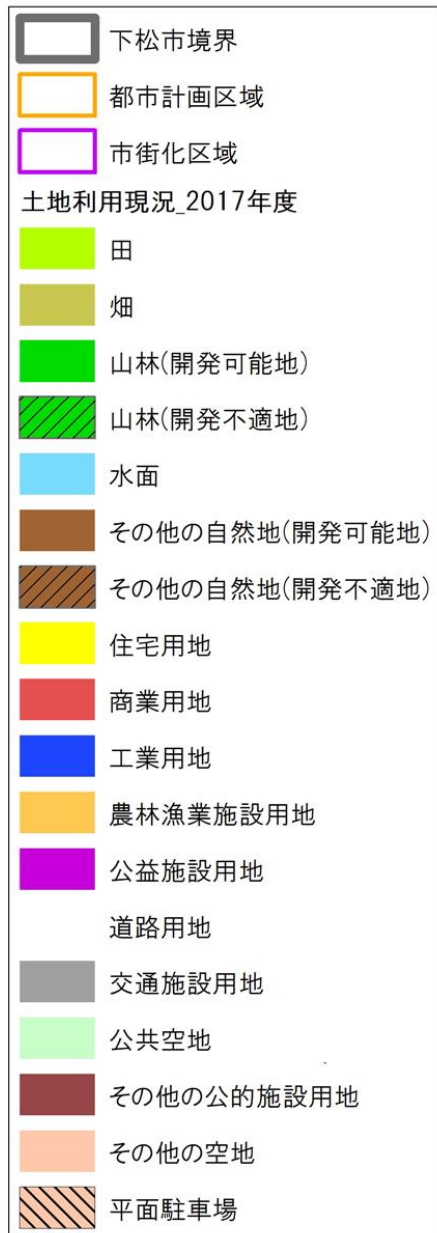
[土地利用の構成]



※都市的土地利用は、住宅用地、商業用地、工業用地、農林漁業施設用地、公益施設用地、道路用地、交通施設用地、公共空地、その他公的施設用地、その他の空地

データ：2017(平成 29)年度 都市計画基礎調査

[土地利用現況図（都市計画区域内）]



データ:2017(平成 29)年度 都市計画基礎調査

## 2-4 みどりの現況調査

### 2-4-1 都市計画公園の整備状況

54 の都市計画公園・緑地のうち、「整備済み」及び「一部整備済」は 23 施設であり、全体の整備率は 42.6%となっています。

2017（平成 29）年度末の都市計画区域内人口 1 人あたりの都市公園の面積は 6.9 m<sup>2</sup>/人であり、全国平均 10.4 m<sup>2</sup>/人、山口県平均 14.9 m<sup>2</sup>/人に比べ少ない状況にあります。

整備済み公園については、ベンチや水飲み場、トイレ等に老朽化が見られる公園があります。また、砂遊び場では、雑草が生え、砂場として使われていない公園も見られます。

[都市公園の一例]



金輪街区公園



下松公園



栄町街区公園



森金街区公園



平田川公園



瀧ノ口公園



旗岡街区公園



下松スポーツ公園

[都市計画公園の整備状況]

単位：ヶ所

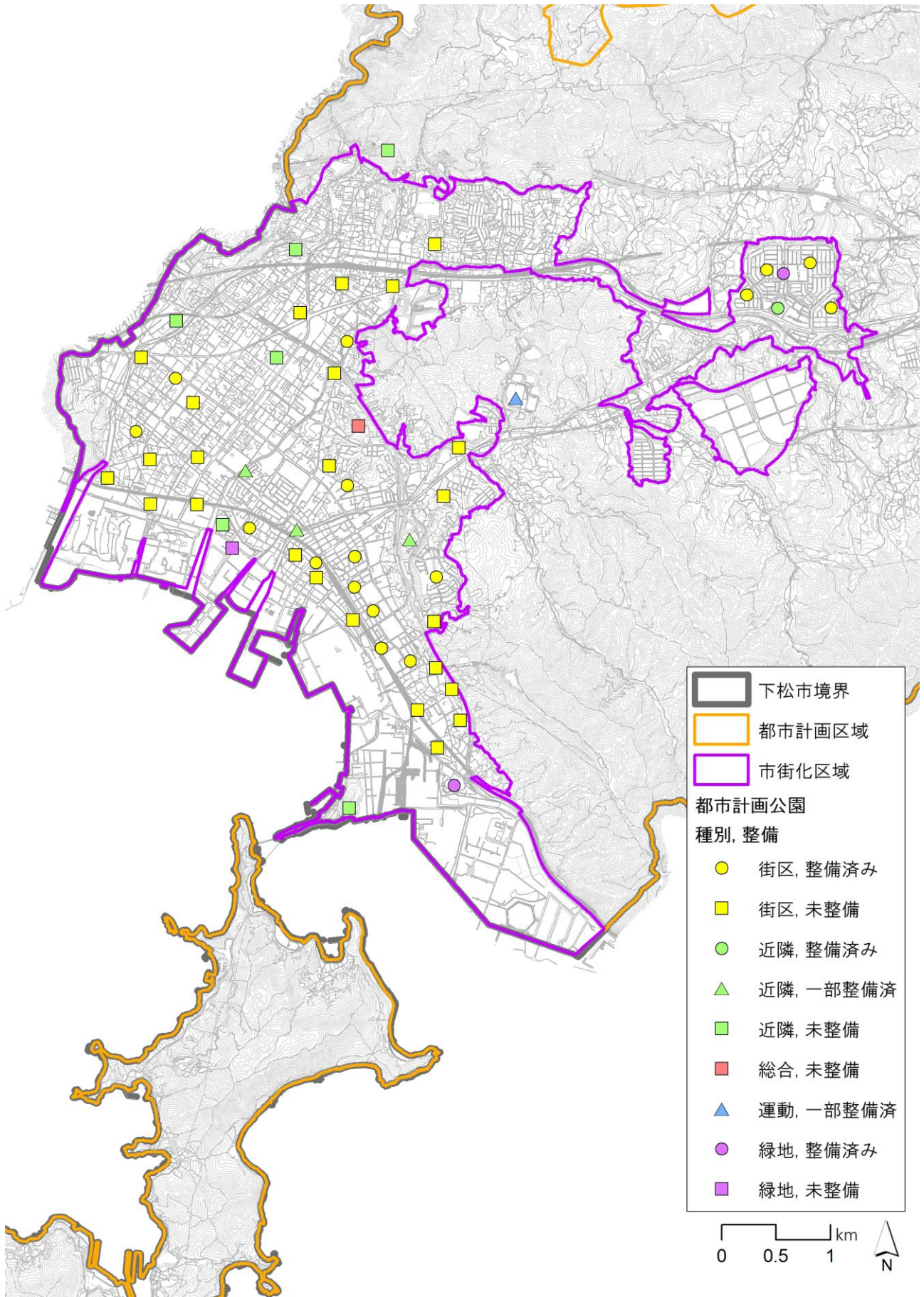
種別	整備済み	一部整備済	未整備	合計	整備率※
街区	16	0	24	40	40.0%
近隣	1	3	6	10	40.0%
総合	0	0	1	1	0.0%
運動	0	1	0	1	100.0%
緑地	1	1	0	2	100.0%
合計	18	5	31	54	42.6%

※(整備済み + 一部整備済) / 合計 × 100%

※緑地は、「下松市海岸通り緑地(東海岸通り、恋ヶ浜等)」と「久保緑地」である



[都市計画公園の種別と整備状況]



※緑地のうち、「下松市海岸通り緑地」は東海岸通りと恋ヶ浜等に分けて表示

## 2-4-2 緑被率

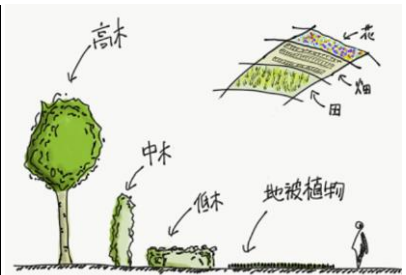
本市の緑被率（対市街化区域面積）は、26.8%となっています。なお、山口県都市計画区域マスタープランでは、将来市街地面積に対する緑地の割合は概ね 30%が示されています。

市街化区域では、163ha（8.9%）の農地が残されています。

[緑被率]

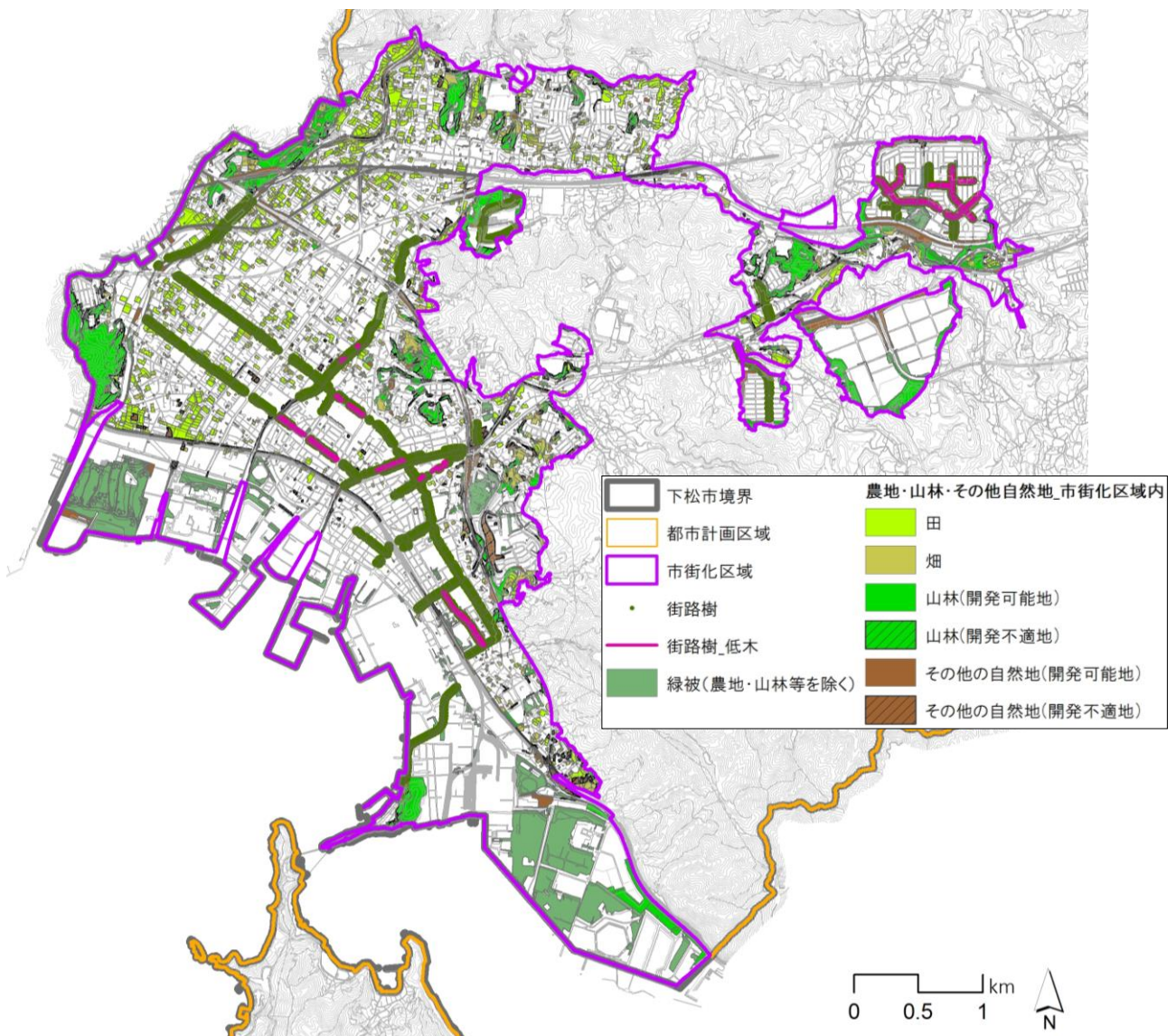
種別	市街化区域 面積	緑被面積 (市街化区域内)	緑被率 (対市街化区域面積)
樹木・地被植物	1,827ha	325ha	17.8%
農地		163ha	8.9%
街路樹		1ha	0.1%
合計	1,827ha	489ha	26.8%

[緑被のイメージ]



※樹木・地被植物は、2017(平成 29)年度都市計画基礎調査による、山林・その他の自然  
地(原野、荒地等)の他、2010(平成 22)年度の航空写真を元に 500 m<sup>2</sup>以上のまとまり  
がある緑被を計測(山林とその他の自然地とは、面積の重複はない)。農地は、2017(平  
成 29)年度都市計画基礎調査のデータ。街路樹は、図上計測。

[樹木・地被植物、農地、街路樹]

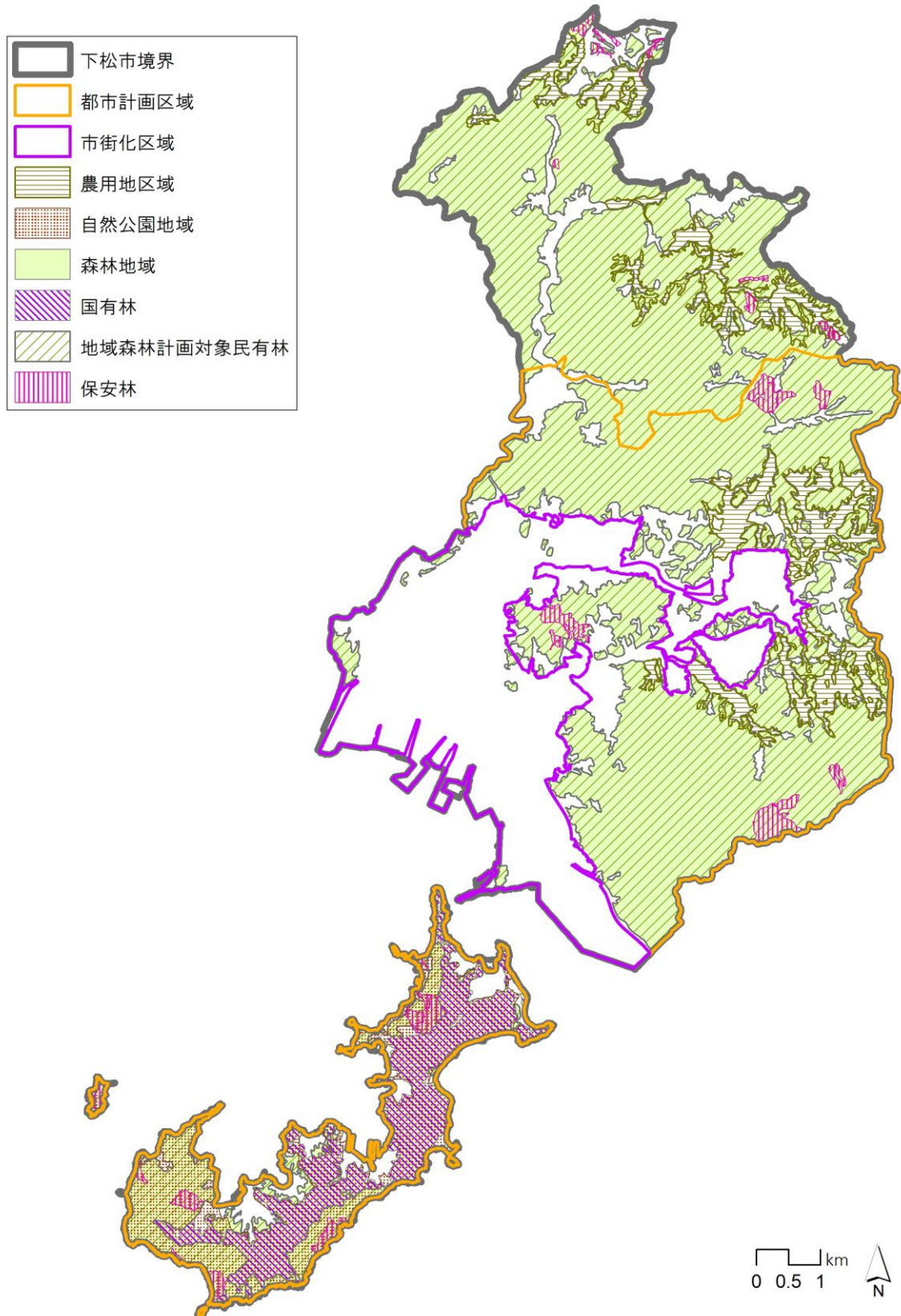


### 2-4-3 地域制緑地

都市計画区域内における地域制緑地の面積は、4,050ha であり、都市計画区域の 61.1%を占めています。

そのうち、市街化調整区域においては、83.1%が地域制緑地となっています。

[地域制緑地の現況図]



※地域制緑地とは、法律や条例などに基づき、緑地に保安制度を適用した緑地をいう  
データ：森林地域(国土数値情報(国土交通省))/農業地域(国土数値情報(国土交通省))/自然公園地域(国土数値情報(国土交通省))

## 2-4-4 施設緑地

市街化区域内の民間施設緑地は、22.3ha（1.2%：対市街化区域面積）、公共施設緑地は、67.7（3.7%：対市街化区域面積）となっています。

市街化調整区域内の民間施設緑地は、46.1ha（1.0%：対市街化調整区域面積）、公共施設緑地は、26.7ha（0.6%：対市街化調整区域面積）となっています。

[市街化区域]

単位：ha

種類	施設	面積	合計
民間施設 緑地	広場、運動場	5.7	22.3
	社寺境内地、墓地その他これらに類するもの	11.8	
	林業試験場、農事試験場その他これらに類する試験場等、研究所	4.8	
公共施設 緑地	給排水その他処理施設等の公共公益施設付属緑地	2.2	67.7
	学校、企業更生施設その他これらに類する施設	64.5	
	街路樹	1.0	

データ：2012(平成 24)年度 都市計画基礎調査

[市街化調整区域]

単位：ha

種類	施設	面積	合計
民間施設 緑地	広場、運動場	2.4	46.1
	社寺境内地、墓地その他これらに類するもの	26.0	
	林業試験場、農事試験場その他これらに類する試験場等、研究所	17.8	
公共施設 緑地	給排水その他処理施設等の公共公益施設付属緑地	7.1	26.7
	学校、企業更生施設その他これらに類する施設	19.6	

データ：2012(平成 24)年度 都市計画基礎調査

## 2-4-5 緑地現況量

施設緑地及び地域制緑地により緑地現況量は、市街化区域内で188ha、市街化調整区域で4,061haとなっています。市街化区域内の緑地現況量は、市街化区域面積に対して10.2%となっています。

[緑地現況量]

単位:ha

区 分		市街化区域	市街化調整区域	都市計画区域
施設緑地	都 市 公 園	36	0	36
	公 共 施 設 緑 地	68	27	95
	民 間 施 設 緑 地	22	46	68
	施 設 緑 地 合 計	126	73	199
地域制緑地	特 別 緑 地 保 全 地 区、 緑 地 保 全 地 域	0	0	0
	風 致 地 区	0	0	0
	自 然 公 園 地 域	0	989	989
	農 業 振 興 地 域 農 用 地 区 域	0	382	382
	国 有 林 区 域	0	505	505
	保 安 林 区 域	0	153	153
	森 林 地 域	63	3,578	3,641
	地 域 森 林 計 画 対 象 民 有 林	63	3,073	3,136
	そ の 他 法 に よ る も の	0	0	0
	条 例 等 に よ る も の	0	0	0
	地 域 制 緑 地 小 計	126	8,680	8,806
	地 域 制 緑 地 間 の 重 複	64	4,692	4,756
	地 域 制 緑 地 合 計	62	3,988	4,050
施 設 ・ 地 域 制 緑 地 間 の 重 複		0	0	0
緑 地 現 況 量 総 計		188	4,061	4,249

※都市公園について、「下松スポーツ公園」は市街化調整区域に整備されているが、市街化区域に近接しており、市街化区域の市民の利用が見込まれるため、市街化区域の欄で集計している。

## 2-4-6 みどりの変化

市街化区域内においては、区域の特性上、農地や自然的土地利用から都市的土地利用へと土地利用が変化しています。また、市街化調整区域の市街化区域との縁辺においても、自然的土地利用から都市的土地利用への変化が起こっています。

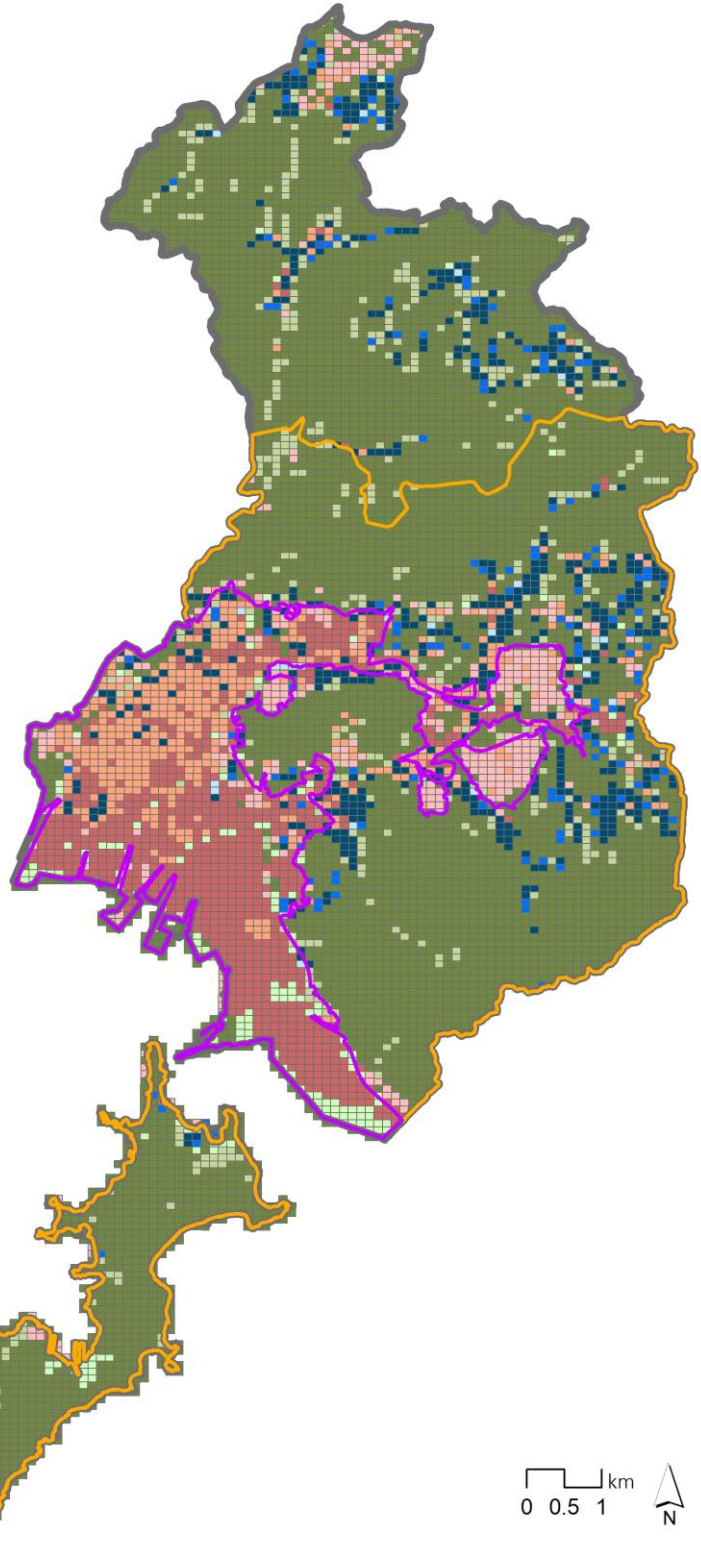
1976（昭和 51）年から 2014（平成 26）年の約 40 年間で、自然的土地利用または農地から都市的土地利用となった面積は 867ha、都市的土地利用から自然的土地利用または農地となった面積は 211ha であり、都市的土地利用は 656ha 増加しています。

単位：ha

[土地利用変化]

土地利用変化	面積
1976(昭和 51)年⇒2014(平成 26)年	
都市のまま	855
自然から都市	364
農地から都市	503
自然のまま	5,802
都市から自然	179
農地から自然	528
農地のまま	559
都市から農地	32
自然から農地	171

※面積は、メッシュ数(1メッシュ 1ha)から集計

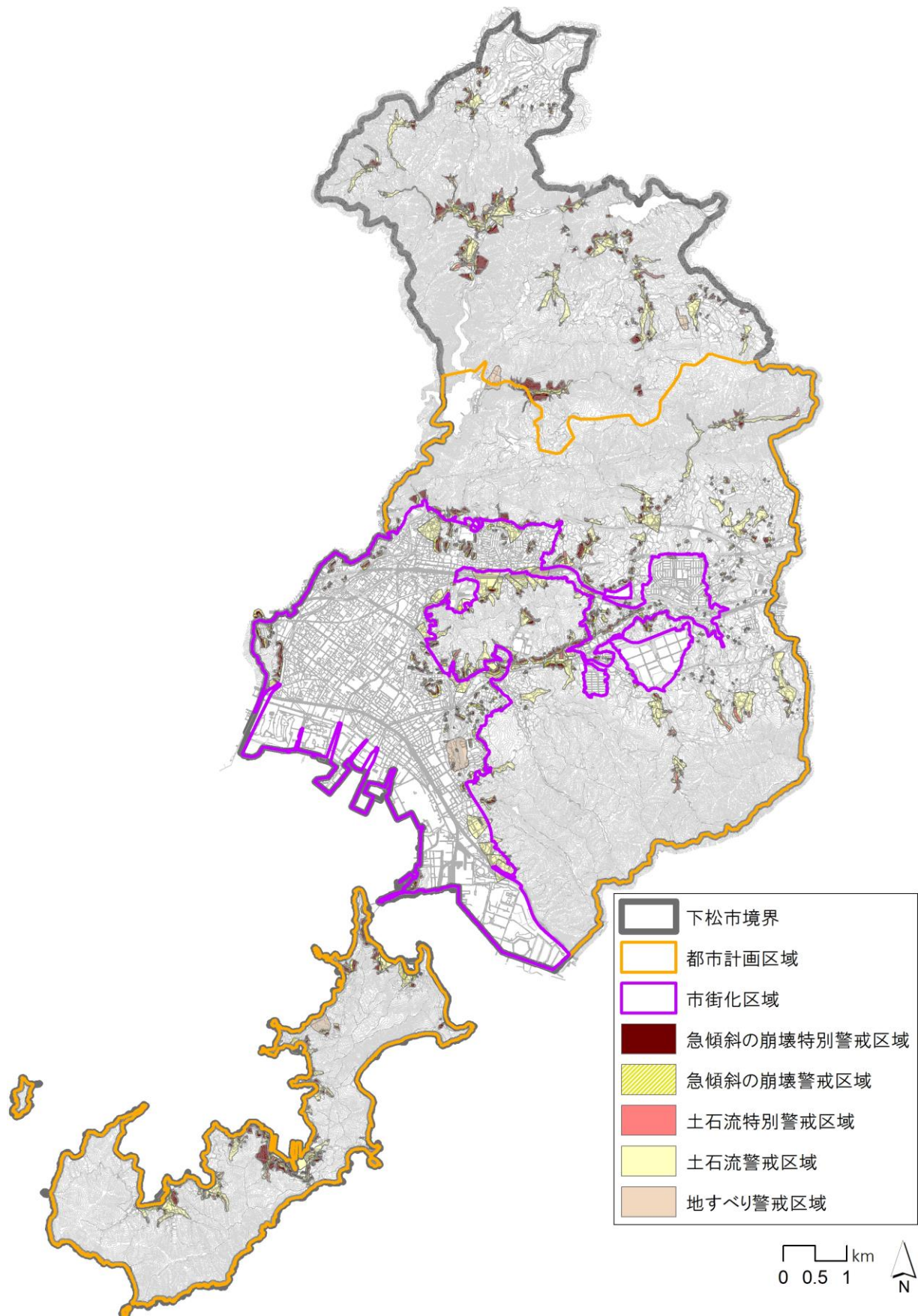


データ：土地利用細分 100mメッシュデータ(国土数値情報(国土交通省))

## 2-5 土砂災害の想定

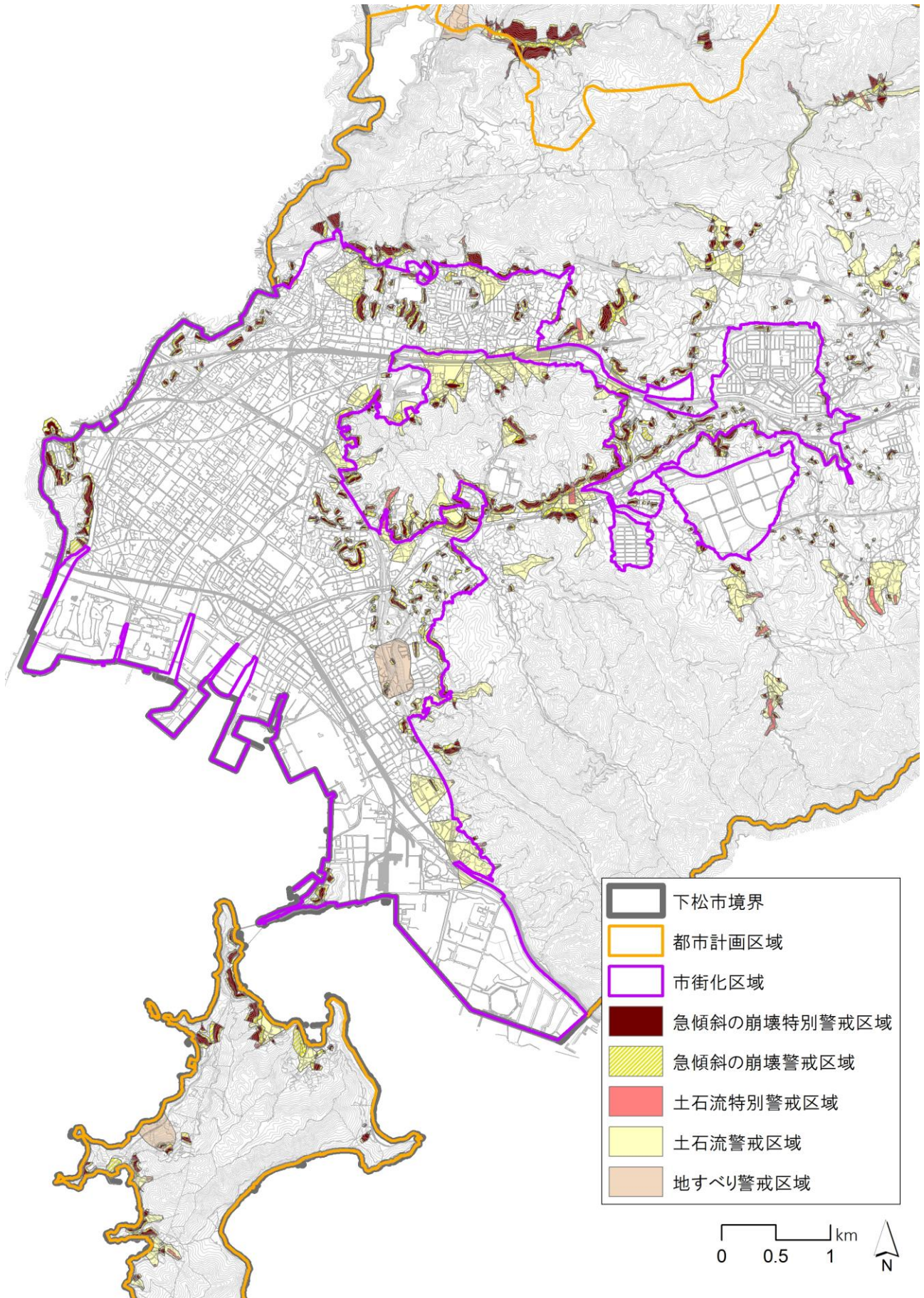
山間部だけでなく市街化区域内においても、土砂災害の危険性のある区域が各所で見られます。

[土砂災害の危険性がある区域]



データ: 災害危険箇所(国土数値情報(国土交通省))/土砂災害警戒区域(国土数値情報(国土交通省))

[土砂災害の危険性がある区域（市街化区域内）]



データ：災害危険箇所(国土数値情報(国土交通省))/土砂災害警戒区域(国土数値情報(国土交通省))



## 2-6 みどりに関わるイベント等

### 2-6-1 くだまつ花と緑の祭典

花と緑につつまれたまちづくりを目指した「くだまつ花と緑の祭典」を、毎年5月下旬に開催しています。

花と緑に関する展示や販売を中心に、キャッチフレーズ、絵画コンクール、しだれ桜の風景写真コンテストの表彰式など各種イベントを開催しています。



### 2-6-2 花壇コンクール

市に登録された花壇に対し、毎年6月と11月に花苗を配布しています。自治会や各種団体が花壇の維持・管理を行い、まちの景観向上に取り組んでいます。

毎年、秋には花壇コンクールを開催し、市長賞・市議会議長賞など、よく手入れのされた花壇を表彰しています。その中でも特に優れた花壇は、モデル花壇として表彰しています。



### 2-6-3 サルビア鉢コンクール

花いっぱいのまちづくりの一環として、毎年10月上旬に「サルビア鉢コンクール」を実施しています。

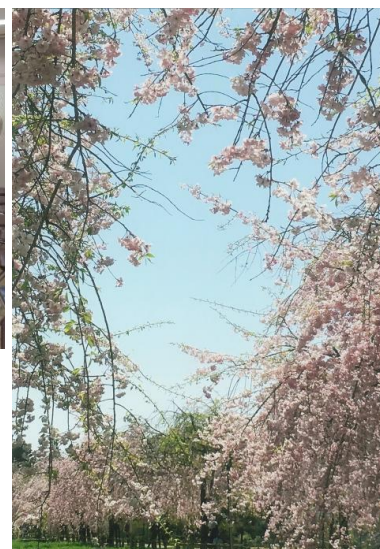
コンクールでは、葉の色合い、花の色や付き具合等を審査しています。また、毎年6月上旬には、コンクール出品用にサルビアのポット苗を配布しています。



#### 2-6-4 「しだれ桜の風景」写真コンテスト

次世代に残す観光名所の一つとなるよう、花いっぱいのまちづくりの一環として、平成 13 年度からシダレザクラの植樹に取り組んでいます。樹木も少しずつ大きくなり、春には各地でシダレザクラが見事な花を咲かせています。

平成 21 年に市制施行 70 周年を記念して、「しだれ桜の風景」写真コンテストを実施し、以降、毎年、同コンテストを実施しています。



#### 2-6-5 カサランカー鉢運動

「笑い・花・童謡」を中心とした「心豊かなまちづくり」に取り組む中で、花いっぱいのまちづくりの一環として、平成 12 年度からカサランカー鉢運動を行っています。

毎年、市内在住の方を対象に、11 月中旬にカサランカの球根・土・鉢・肥料を安価で提供し育てていただき、7 月中旬の開花期には「カサランカー鉢コンクール」を実施しています。



#### 2-6-6 サルビア育成指導

末武中学校で緑化センター職員による末武中学生徒へのサルビアの育成指導を、2016（平成 28）年度、2017（平成 29）年度の 2 か年行いました。



## 2-7 市民意向

### 2-7-1 みどりの基本計画策定に向けたアンケート（抜粋）

[アンケート実施概要]

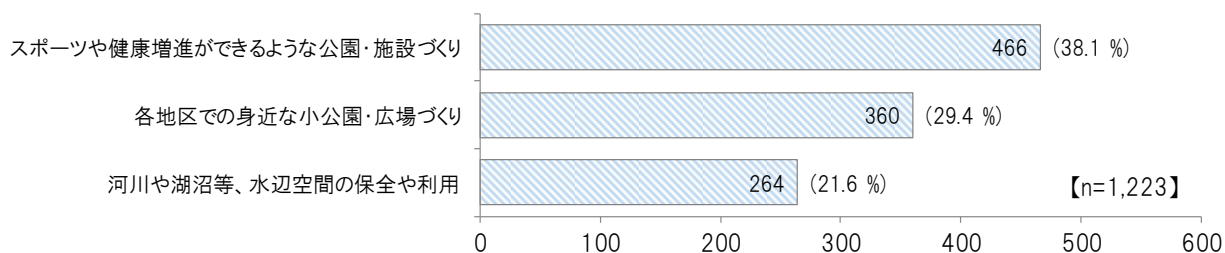
実施日	2017(平成29)年12月～2018(平成30)年1月
対象者	下松市内に居住する20歳以上の男女
配布数・回収率	3,000通配布・1,223通回収・40.8%

下松しみどりの基本計画を策定するにあたり、今後の公園や緑の方針、課題を検討する上での貴重な資料とさせていただくことを目的に、市内にお住まいの方にアンケート調査を実施しました。

全てのアンケート結果は、別紙資料編に掲載しています。

#### ① 今後の下松市の公園・緑地・緑化の充実は、どのような方向で進めるべきだと思いますか？（上位3位）

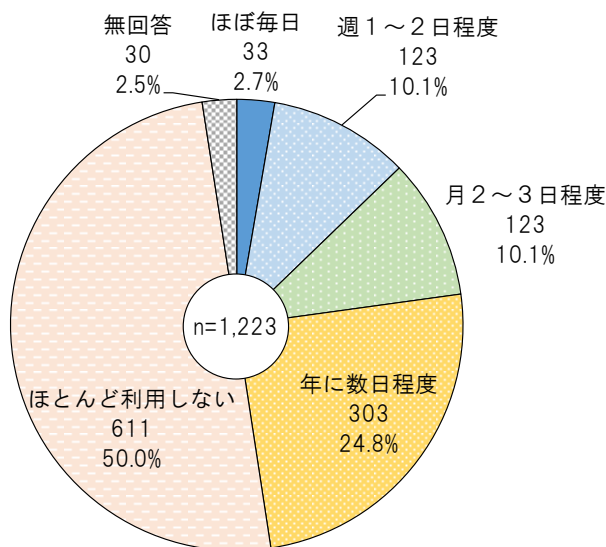
上位3位では、「スポーツや健康増進ができるような公園・施設づくり（38.1%）」、「各地区での身近な小公園・広場づくり（29.4%）」、「河川や湖沼等、水辺空間の保全や利用（21.6%）」となっています。



#### ② あなたはお住まいの近くにある公園をどれくらい利用しますか？

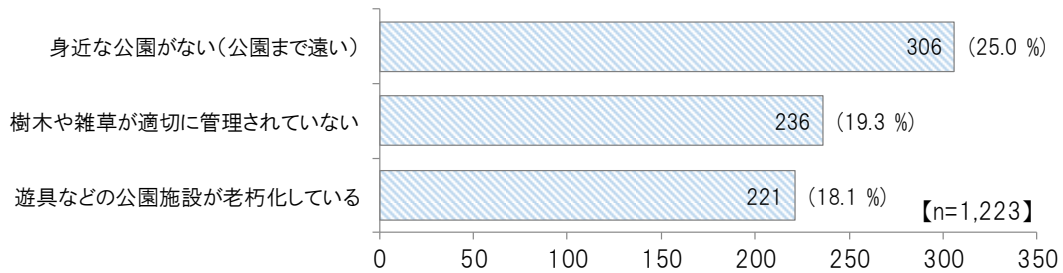
「ほとんど利用しない（50.0%）」が半数を占めています。

「年に数日程度（24.8%）」を足すと、74.8%が公園を日常的に利用していないこととなっています。



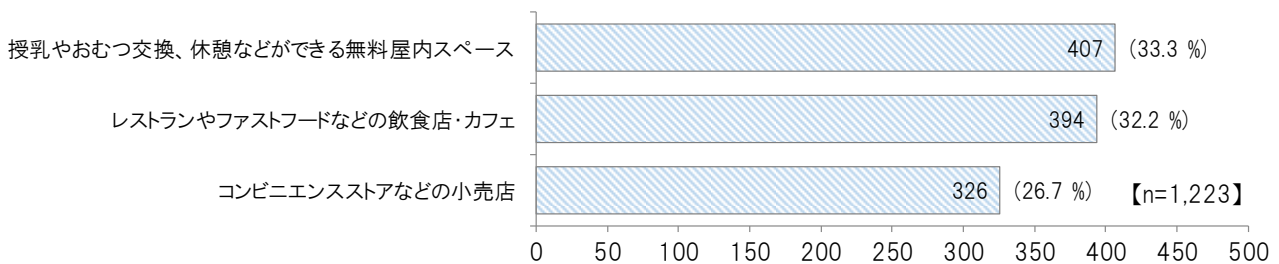
### ③ 公園を利用して、不満に思うことはありますか？（上位3位）

上位3位では、「身近な公園がない（公園まで遠い）（25.0%）」、「樹木や雑草が適切に管理されていない（19.3%）」、「遊具などの公園施設が老朽化している（18.1%）」となっています。



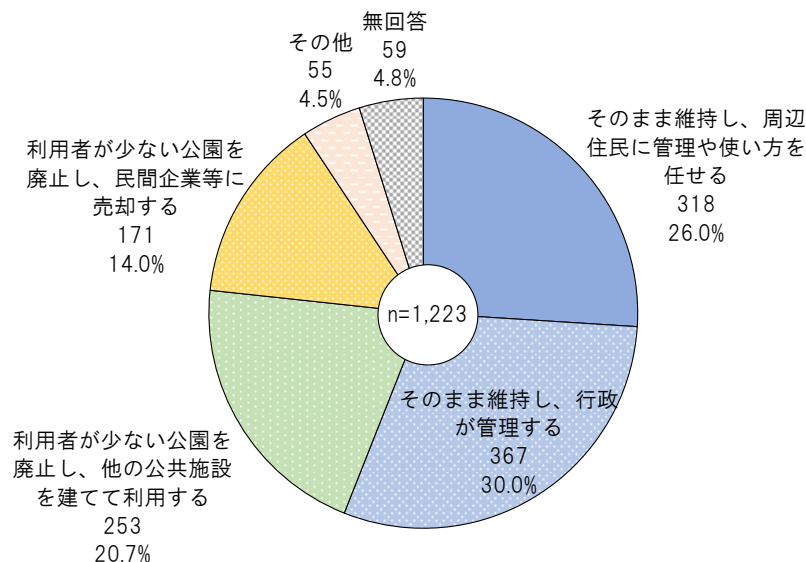
### ④ 大規模な公園に「あったら良い」、「便利だ」と思うサービス施設は何だと思いますか？（上位3位）

上位3位では、「授乳やおむつ交換、休憩などができる無料屋内スペース（33.3%）」、「レストランやファストフードなどの飲食店・カフェ（32.2%）」、「コンビニエンスストアなどの小売店（26.7%）」となっています。



### ⑤ 小規模な公園（児童遊園や児童広場など）の中には、あまり利用されていないものがあります。そのような公園は、今後どうすればよいと思いますか？

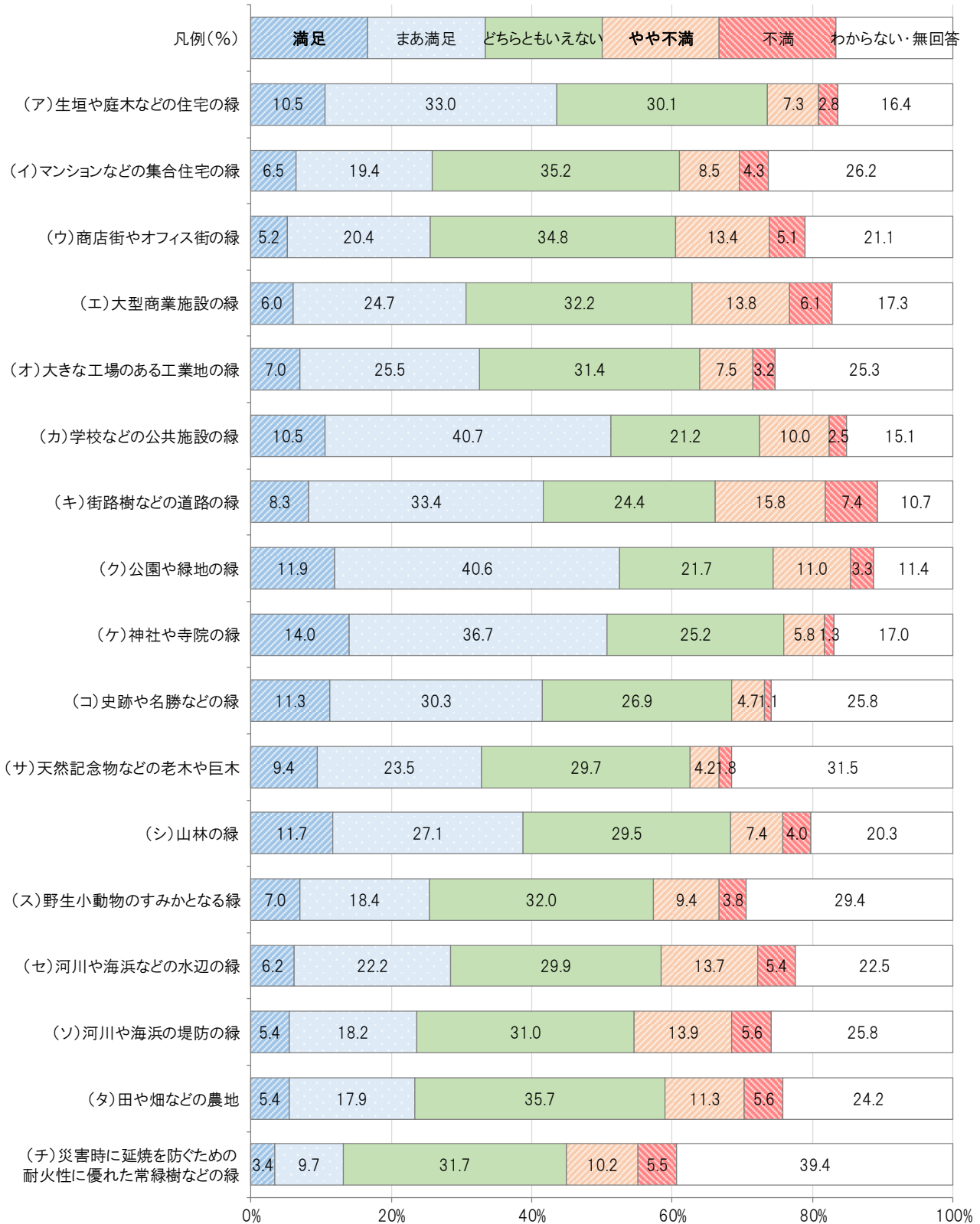
「そのまま維持し、周辺住民に管理や使い方を任せる（26.0%）」、「そのまま維持し、行政が管理する（30.0%）」、「利用者が少ない公園を廃止し、他の公共施設を建てて利用する（20.7%）」、「利用者が少ない公園を廃止し、民間企業等に売却する（14.0%）」と回答が分されました。



⑥ 身近な緑の量や管理、質について、満足されていますか？

「(カ) 学校などの公共施設の緑 (51.2%)」、「(ク) 公園や緑地の緑 (52.5%)」、「(ケ) 神社や寺院の緑 (50.3%)」で半数以上が、満足、または、まあ満足と回答しています。

一方、「(エ) 大型商業施設の緑 (23.2%)」、「(キ) 街路樹などの道路の緑 (23.2%)」、「(ソ) 河川や海浜の堤防の緑 (19.5%)」は、不満、または、やや不満が比較的多い回答となっています。

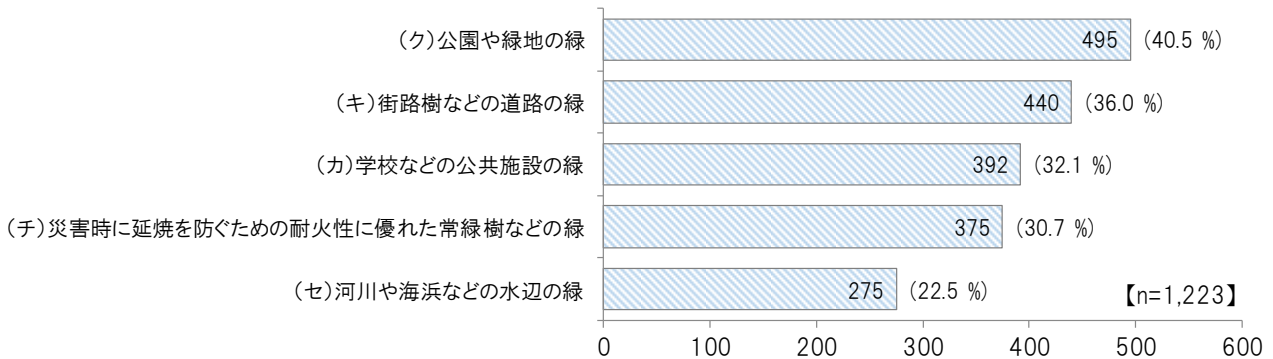


[n=1,223]

**⑦ 下松市にとって、どこの緑に重点を置くべきだと思いますか？（上位 5 位）**

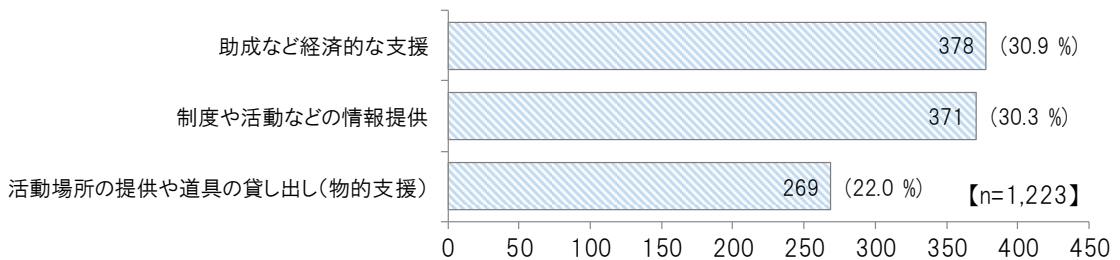
「(ク) 公園や緑地の緑 (40.5%)」、「(キ) 街路樹などの道路の緑 (36.0%)」、「(カ) 学校などの公共施設の緑 (32.1%)」が上位となっています。

「(ク) 公園や緑地の緑」、「(カ) 学校などの公共施設の緑」においては、前問⑥で満足が高い項目であり、今後も、満足度を維持・高めていくこととなりますが、「(キ) 街路樹などの道路の緑」は比較的不満度が高く、改善が必要となります。



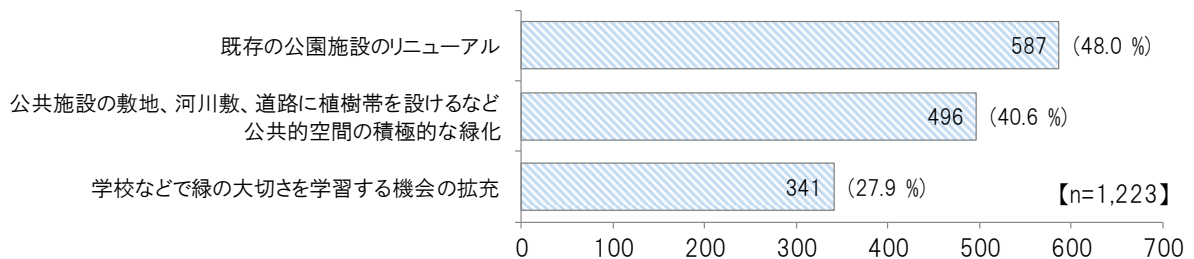
**⑧ あなたが緑と関わる上で、市に特に支援して欲しいことは何ですか？（上位 3 位）**

上位 3 位では、「助成など経済的な支援 (30.9%)」、「制度や活動などの情報提供 (30.3%)」、「活動場所の提供や道具の貸し出し (物的支援) (22.0%)」となっています。



**⑨ 緑のまちづくりに関して、どの取り組みの優先度が高いと思いますか？（上位 3 位）**

上位 3 位では、「既存の公園施設のリニューアル (48.0%)」、「公共施設の敷地、河川敷、道路に植樹帯を設けるなど公共的空間の積極的な緑化 (40.6%)」、「学校などで緑の大切さを学習する機会の拡充 (27.9%)」となっています。



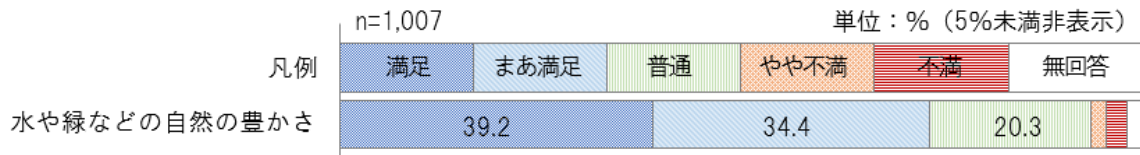
## 2-7-2 総合計画・都市計画マスタープラン策定のためのまちづくり市民アンケート（抜粋）

[アンケート実施概要]

実施日	2009(平成21)年8月～2009(平成21)年9月
対象者	下松市内に居住する20歳以上の男女
配布数・回収率	2,000通配布・1,007通回収・50.4%

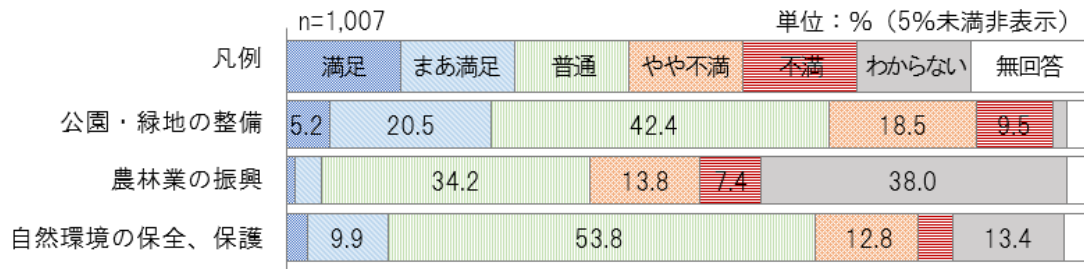
### ① 各項目に対してどの程度、魅力・満足を感じますか。（みどりに関する設問を抽出）

「水や緑などの自然の豊かさ」では、満足度が高くなっています。



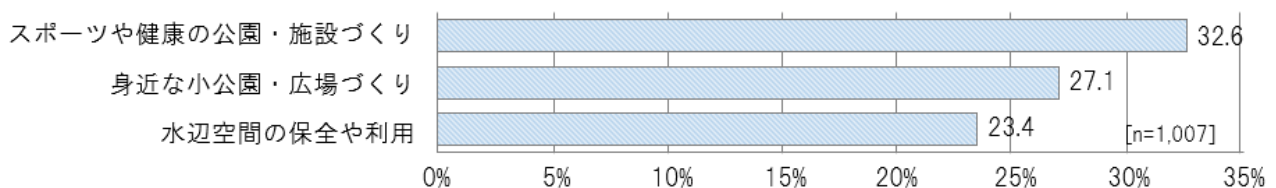
### ② まちづくり施策にどの程度満足していますか。（みどりに関する設問を抽出）

「公園・緑地の整備」、「農林業の振興」、「自然環境の保全、保護」は、不満度の方が高くなっています。



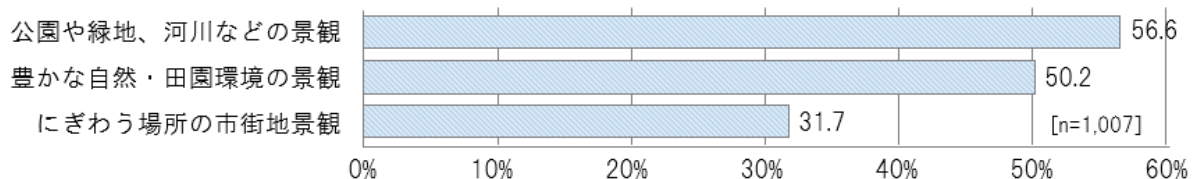
### ③ 今後の下松市の公園、緑地、緑化の充実は、どのような方向で進めるべきだと思いますか。（上位3位）

上位3位では、「スポーツや健康の公園・施設づくり(32.6%)」、「身近な小公園・広場づくり(27.1%)」、「水辺空間の保全や利用(23.4%)」となっています。



### ④ 下松市では特にどのような景観を守り、つくり、育てることに力を注ぐべきだと思いますか。（上位3位）

上位3位では、「公園や緑地、河川などの景観(56.6%)」、「豊かな自然・田園環境の景観(50.2%)」、「にぎわう場所の市街地景観(31.7%)」となっています。



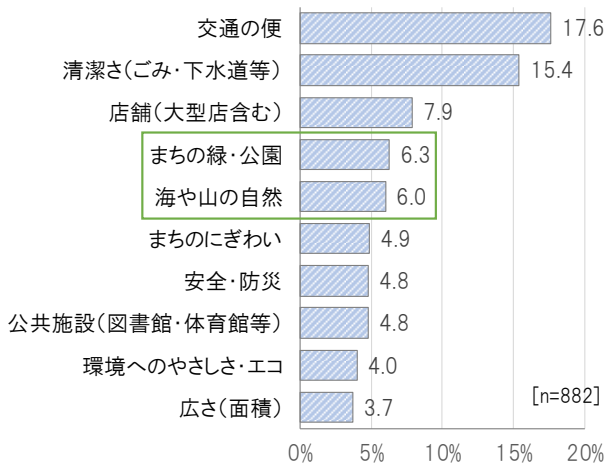
## 2-7-3 下松市の未来を考えるまちづくり中学生・高校生アンケート（抜粋）

### [アンケート実施概要]

実施日	2009(平成 21)年 8 月～2009(平成 21)年 9 月
対象者	下松市内の中学校・高校の各 2 年生全員(市外居住者が含まれる)
回収数	882 通

#### ① 下松市の良いところ、悪いところは何ですか。(第 1 位として挙げたもの)

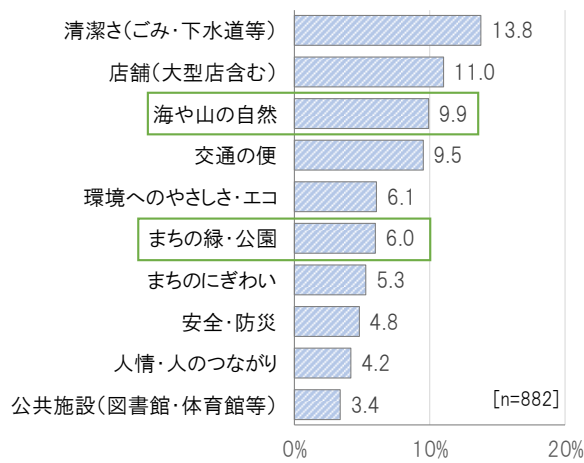
「まちの緑・公園 (6.3%)」、「海や山の自然 (6.0%)」であり、上位 5 位に入っています。



※上表は、上位 10 位まで表示

#### ② 今後の下松市のまちづくりの中で、もっと良くしていきたいことは何ですか。(第 1 位として挙げたもの)

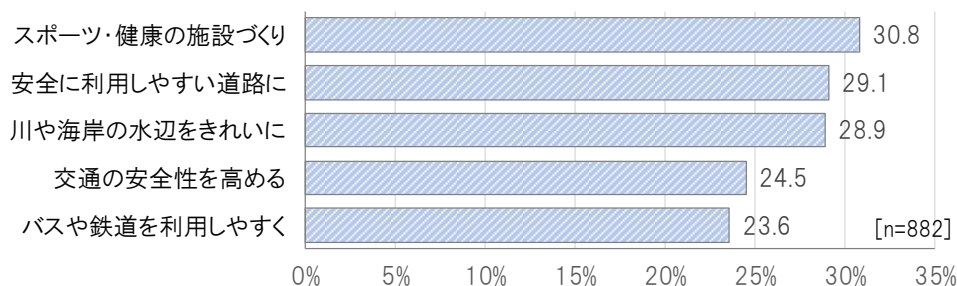
「海や山の自然 (9.9%)」、「まちの緑・公園 (6.0%)」であり、比較的上位となっています。



※上表は、上位 10 位まで表示

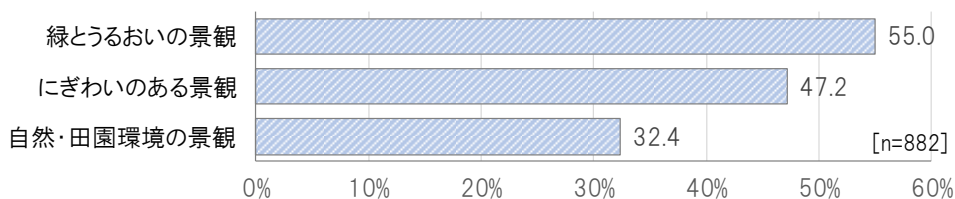
#### ③ 今後の下松市のまちづくりの中で、もっと良くしていきたいことは何ですか。(第 1 位として挙げたもので上位 5 位)

上位 5 位では、「スポーツ・健康の施設づくり (30.8%)」、「安全に利用しやすい道路に (29.1%)」、「川や海岸の水辺をきれいに (28.9%)」、「交通の安全性を高める (24.5%)」、「バスや鉄道を利用しやすく (23.6%)」となっています。



#### ④ 下松市では特にどのような景観を守り、つくり、育てることに力を入れるべきだと思いますか。(上位 3 位)

上位 3 位では、「緑とうるおいの景観 (55.0%)」、「にぎわいのある景観 (47.2%)」、「自然・田園環境の景観 (32.4%)」となっています。



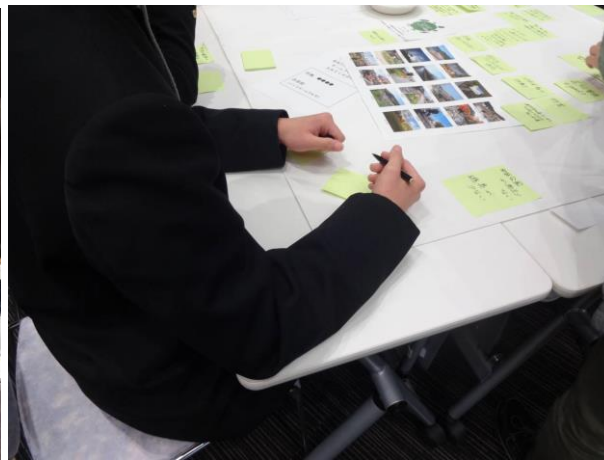


## 2-7-4 みどりのアイデア会議

下松市のみどりについて、日頃から市民の皆さんが感じていることを伺い、市民の皆さんが「できる」「やりたい」みどりづくりプロジェクトや市の支援策について語り合う場として、「みどりのアイデア会議」(ワークショップ)を開催しました。

グループに分かれて意見を交わし、幅広い年齢層の方々から、本計画策定にあたっての貴重なご意見を頂戴しています。

日 時	第 1 回目「下松市“みどり”について語り合おう！」 2018(平成 30)年 2 月 10 日(土)10:00～12:00 第 2 回目「市民の“みどり”づくりプロジェクトを考えよう」 2018(平成 30)年 3 月 10 日(土)10:00～12:00
場 所	下松市市民交流拠点施設「ほしらんど くだまつ」
参 加 者	中学生・高校生・幼保保護者・みどりに関する団体・その他市民:延べ 45 名



※頂いたご意見をとりまとめた資料は、「別冊 資料編」に掲載しています。

## 2-8 前計画の目標との現況比較

1998（平成 10）年 3 月に策定した前計画に掲げた目標について、現況と比較し整理します。

### 2-8-1 緑地の確保目標水準

2017（平成 29）年の緑地面積割合は、市街化区域で 10.2%（緑地面積は 188ha で、割合は対市街化区域面積）、都市計画区域で 64.1%（緑地面積は 4,249ha で、割合は対都市計画区域面積）となっています。

前計画の目標水準は、市街化区域で 9.8%、都市計画区域で 46.5%でしたが、前計画策定当時の緑地の捉え方と現在の緑地の捉え方に大きな差異があり、単純に、目標水準との比較ができない状況となっています。

### 2-8-2 都市計画公園等の施設として整備すべき緑地の目標水準

前計画の 2020 年目標水準と実績を比較すると、都市計画区域人口、都市公園面積に大きな乖離が出ています。特に、当時設定された都市公園面積の目標水準が非常に高く、達成するためには多大な時間と費用がかかることが想定されます。

本計画では、計画期間内で着実に進められる事業に注力し、成果につながる計画とするため、現実的な目標値を再設定することとします。

⇒目標値は、「第 4 章 4-4 みどりの目標」参照

	前計画の目標水準		現況 2017(平成 29) 年度末
	基準年 1995(平成 7)年	目標年 2020 年	
都市計画区域人口	52,615 人	64,200 人	56,675 人
都市公園面積	27.29 ha	172.63 ha	39.18 ha
1人あたり都市公園面積	5.19 m <sup>2</sup> /人	26.89 m <sup>2</sup> /人	6.9 m <sup>2</sup> /人